

😊家読（うちどく）はじめてみませんか？😊

【小学生高学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第2号（令和5年7月発行）芦別市立図書館

◆子どもといっしょに読書をしてみましょう◆

子どもが大きくなるほど、一緒に何かをするということがなくなってきます。けれども共通の楽しみや話題があると、会話も弾み、子どもとの距離が近くなります。子どもが興味を持っている事、学校で勉強していること、社会で話題になっていることなど、テーマはたくさんありそうです。そんなことが書かれている本を読み、感想を話すだけで、食卓での会話が弾みます。

本は知識の宝庫です。一人の人間が人生で体験できることはそんなに多くはありませんが、本の世界では、どんなことでも体験可能です。読むことで、知識を得、生きる力に繋がります。



「テーマいろいろ」

★ アニメ・映画 ★

人気のアニメや映画がたくさんあります。最近は大人も一緒に楽しんでいることが多くなりました。図書館には、「ゴールデンカムイ」「スラムダンク」「名探偵コナン」もそろっています。マンガや映画の原作を読んでみたり、アイヌについて調べてみるのも楽しいですよ。

★ スポーツ ★

ワールドカップ、WBC、卓球など日本選手も強くなり、スポーツ番組を見る楽しみが増え、興味を持つ子どもたちもいます。競技のルールや練習方法、スポーツの歴史や選手、オリンピックについて。ボールやバットの秘密について書かれた本など、興味深く楽しく読むことができます。

★ 環境・SDGS ★

子ども向けの本は、とても分かりやすく、それでいて詳しい。環境を守るのは私たちの生活の仕方に関係しています。興味を持った子どもが本で得た知識をすぐに実践でき、生活に役立てることが出来ます。

★ 動物・植物 ★

動物のテレビ番組は、人気があります。「行動展示」で有名になった旭山動物園に行く機会も多くあります。調べてから行くと楽しさも倍増。「ざんねんな生き物図鑑」や「牧野富太郎」の本など、人気があります。



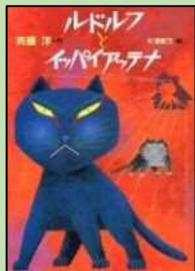
「子どもと一緒に楽しむ」ポイント！

- ◆ 子どもの好きな本、興味のあることの本を読む。
- ◆ 本はいつでも手の届くところ（リビングなど）に置いておく。
- ◆ 図書館で色々な本を借りてみる。

小学校高学年向け おすすめ本のリスト

4年生におすすめの本

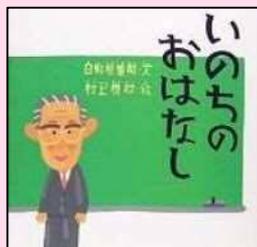
のらネコってたいへん



「ルドルフとイッパイアッテナ」

作：斉藤洋 絵：杉浦範茂
出版社：講談社

いのちってなに？



「いのちのおはなし」

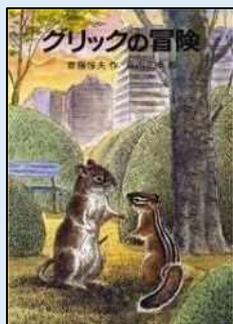
作：日野原重明 絵：村上康成
出版社：講談社

おもしろい本を探そう

高学年になると、勉強やスポーツ・塾などに時間を取られ、読書離れが見られるようになります。そんな時でも、面白い本が身近にあれば、手に取ってみようになります。「積読(つんどく)」とよく言いますが、本を置いておくことは、とても良いことです。本が苦手な人でも絵本ならすぐに読めます。絵本は子どもから大人まで楽しめる本。面白くて納得できる、ふか〜い絵本をご紹介します。

5年生におすすめの本

面白くてどんどん読める



「グリックの冒険」

作：斎藤惇夫 絵：藪内正幸
出版社：岩波書店

お気に入りの本が消えた



「貸出禁止の本をすくえ！」

作：アラン・グラッツ
訳：ないとうふみこ
出版社：ほるぷ出版

おすすめの絵本

「みえるとかみえないとか」

作：ヨシタケシンスケ (アリス館)
みんなが見ている物はどんな風に見えるの？



「やまださんちのてんきよほう」

作：長谷川義史 (絵本館)
やまださんちの天気は、あやしい雲行き。



「さる・るるる」

作・絵：五味太郎 (絵本館)
絵から、この言葉が浮かびますか？文字を隠してクイズをしてみよう！



「えんにち奇想天外」

作：斎藤孝 / 絵：つちだのぶこ (ほるぷ出版)



縁日を楽しみながら、30の四字熟語を習得。

「ふしぎな鳥の巣」

作・絵：鈴木まもる (偕成社)
鳥の巣は、千差万別。世界の鳥の巣を見てみよう！



6年生におすすめの本

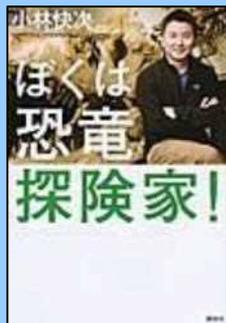
本気になれよ！



「バッテリー」

作：あさのあつこ
絵：佐藤真紀子
出版社：教育画劇

恐竜学者になる



「ぼくは恐竜探検家！」

作：小林快次
出版社：講談社